

トカゲとカマキリ

山や谷、川など入り組んだ地形の奥多摩では集落ごとの交流も限られていたため、同じ動物でも各地域で呼び方が微妙に違うことがあります。中でもトカゲとカマキリは複雑になっています。下表をご覧ください。



標準語	トカゲ	カマキリ
大丹波	トカゲ	カマギッチョ
小丹波	カガミッチョ	カマキリ
海沢	カマギッチョ	カマキリ
氷川	カマギッチョ	トカゲ
日原	カマギッチョ	トカゲ
境	カマギッチョ	カマキリ
小河内	カガビッチョ トカゲ	カマキリ オオガンボウ

トカゲのことをカマギッチョという地域があれば、カマキリのことをカマギッチョ、はたまた、カマキリをトカゲという地域もあります。奥多摩地域以外でも日本各地でトカゲとカマキリの名称混同はあったようです。あなたの住む地域ではトカゲやカマキリをどのように呼んでいますか？

奥多摩の野鳥

■カルガモ

Vol.116



漢字名：軽鴨 レア度 ★☆☆☆
カモ目／カモ科

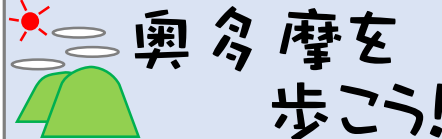
- 大きさ 全長 61cm
- なき声 「ゲエ ゲエ ゲエ・・・」
- 特徴 嘴の先が黄色く、頭と嘴基部から目の下に至る線は黒褐色。羽根の翼鏡は青く目立つ。

✎ メモ 越冬中は群れて生活するものが多い。日中は休息し夜間に活動するが、市街地近くの川や公園の池などでは日中も活動する。

H ところで観察できる？

国内：留鳥または冬鳥。湖沼、河川、池、沿岸海域、水田地帯など。
奥多摩：多摩川や日原川で泳ぐ姿や採食行動が見られる。

シリーズ奥多摩の野鳥は今号をもちまして
完結となりました。



★奥多摩町の方言
【動物編】



モリアオガエル

呼び名：アオゲエロ

東京都 奥多摩ビジターセンター

URL : <https://www.tokyo-park.or.jp/nature/okutama/index.html>

住所：東京都西多摩郡奥多摩町氷川171-1

電話：0428-83-2037

公益財団法人 東京都公園協会

お客様サポートセンター (協会の事業全般に関するお問い合わせ)
電話：03-3232-3038 ※8:30~17:30 (土日・祝日・年末年始を除く)

「方言」の由来とは？

「方言」という言葉は約2000年前の中国でつくられた「揚子方言」という書物で生まれました。その後、中国との交易によって平安時代初期に日本に伝わりました。

当時は平安京で話されていた言葉を「**当国の方言**」とし、現在の岐阜、愛知、三重の各県より東側、北は茨城、栃木、群馬の各県までの言葉を「**東国の方言**」に分けていました。昔は「**それぞれの地域で使われていた言葉**」という意味でしたが、標準語が話される現代では「**標準語とは異なる地方の言葉**」という意味で使われています。

東京都の方言は？

東京都の方言は、本土部では下町方言、山の手方言、多摩方言に分けられ、**山の手方言が標準語のベース**となりました。それぞれ発音などに違いがあるだけで大きな差はありません。しかし、島しょ部は本土部から離れているため、伊豆諸島や小笠原諸島それぞれで文法や発音、語句などに大きな違いがあります。

奥多摩地域は多摩方言に属していますが、埼玉県秩父市や山梨県丹波山村などの近隣市町村と類似する点がみられます。



※奥多摩の方言の特徴は奥多摩を歩こう！95号『奥多摩町の方言【樹木編】』で紹介しています。

奥多摩町内の動物方言

奥多摩町に伝わる方言のうち動物に関する呼び名を紹介します。あなたの住んでいる地域ではどんな呼び方をしているかな？調べてみると同じ呼び方のものがあるかもしれませんよ。



ウシ科
カモシカ
～方言～
カモ



イノシシ科
イノシシ
～方言～
シシ
※子どもはウリンボウ

東京都レンジャー写真提供

東京都レンジャー写真提供



オナガザル科
二ホンザル
～方言～
エテコウ



イタチ科
テン
～方言～
テンマル

東京都レンジャー写真提供



リス科
ムササビ
～方言～
オオバンドリ



リス科
リス
～方言～
ギス



トカゲ科
トカゲ
～方言～
カマギッチョ



ヒキガエル科
ヒキガエル
～方言～
イボゲエロ